

# The Tsunami Hazard Map of Komatsushima City

防災ハザードマップ  
Web版



# 小松島市 津波ハザードマップ

保存版

すぐに取り出せる場所に保管しておきましょう。

2022年3月作成

いざというときに備えて書き込んでおきましょう。

## わが家の避難場所等

### 津波時の避難先

第1候補

第2候補

第3候補

### 事前避難所

家族の連絡先	名 前	生年月日	血液型	電話番号	会社・学校等連絡先

親戚・知人の連絡先	名 前	住 所	電話番号

警察（事件・事故）	消防（火事・救急）	海上保安部（海の事故）
<b>110</b>	<b>119</b>	<b>118</b>

名 称	電話番号
小松島市役所	0885-32-2111
小松島市消防本部	0885-32-0119
NTT 西日本（固定電話）	113
（ひかり電話・携帯電話・PHS）	0120-444-113
四国電力（株）	0120-410-105
徳島赤十字病院	0885-32-2555
江藤病院	0885-37-1559

名 称	電話番号
小松島警察署	0885-32-0110
赤石町駐在所	0885-37-1247
田浦町駐在所	0885-32-1579
ひのみね交番	0885-32-1225
坂野町駐在所	0885-37-1505
立江町駐在所	0885-37-1209

## その他の連絡先

名 称	電話番号	備 考

## 災害用伝言ダイヤル（固定電話・携帯電話）

災害発生時に、電話を利用して安否情報を録音・確認できる『**声の伝言板**』です。

※回線の混雑などにより、電話がつながりにくい場合があります。

**171** にダイヤル

音声ガイダンスによるご案内

**1** を押す

**2** を押す

音声ガイダンスによるご案内

自分の電話番号を市外局番から入力

安否を確認したい相手の電話番号を市外局番から入力

音声ガイダンスによるご案内

伝言を**録音**する  
録音時間：1伝言あたり  
30秒以内

伝言を**再生**する

## web171

インターネットに接続できるパソコン・携帯電話・スマートフォン等で「web171」を利用することができます。

<https://www.web171.jp>

画面の案内によりご利用ください。

## 災害用伝言板（携帯電話・スマートフォン）

災害発生時に、インターネットを利用して安否情報を登録・確認できる『**文字の伝言板**』です。

各社 Web サイトトップまたはアプリ画面から  
「災害用伝言板」を選ぶ

「登録」を選ぶ

「確認」を選ぶ

メッセージ項目を選ぶ  
コメント（全角 100 文字まで）  
も入力できます

安否を確認したい相手の電話番号を市外局番から入力

「登録」を選ぶ

「検索」を選ぶ

登録完了

検索結果が表示

注 Webサイト・アプリによって操作方法が異なります。  
詳しくは各社の利用案内をご確認ください。



# 想定される地震

## ● 南海トラフ巨大地震

南海トラフ沿いの地域は右図のように、これまでおよそ100～150年の間隔でM8クラスの大規模な地震が繰り返し発生しています。

昭和南海地震(1946年)が発生して75年が経過しており、次の南海トラフの地震は、今後30年以内に70%～80%の確率で発生するとされています。\*

また国は、東日本大震災を踏まえ、あらゆる可能性を考慮し、最大クラスの地震・津波を想定した見直しを行いました。この地震・津波は、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらすものです。

※2021年1月1日評価時点、地震調査研究推進本部・地震調査委員会

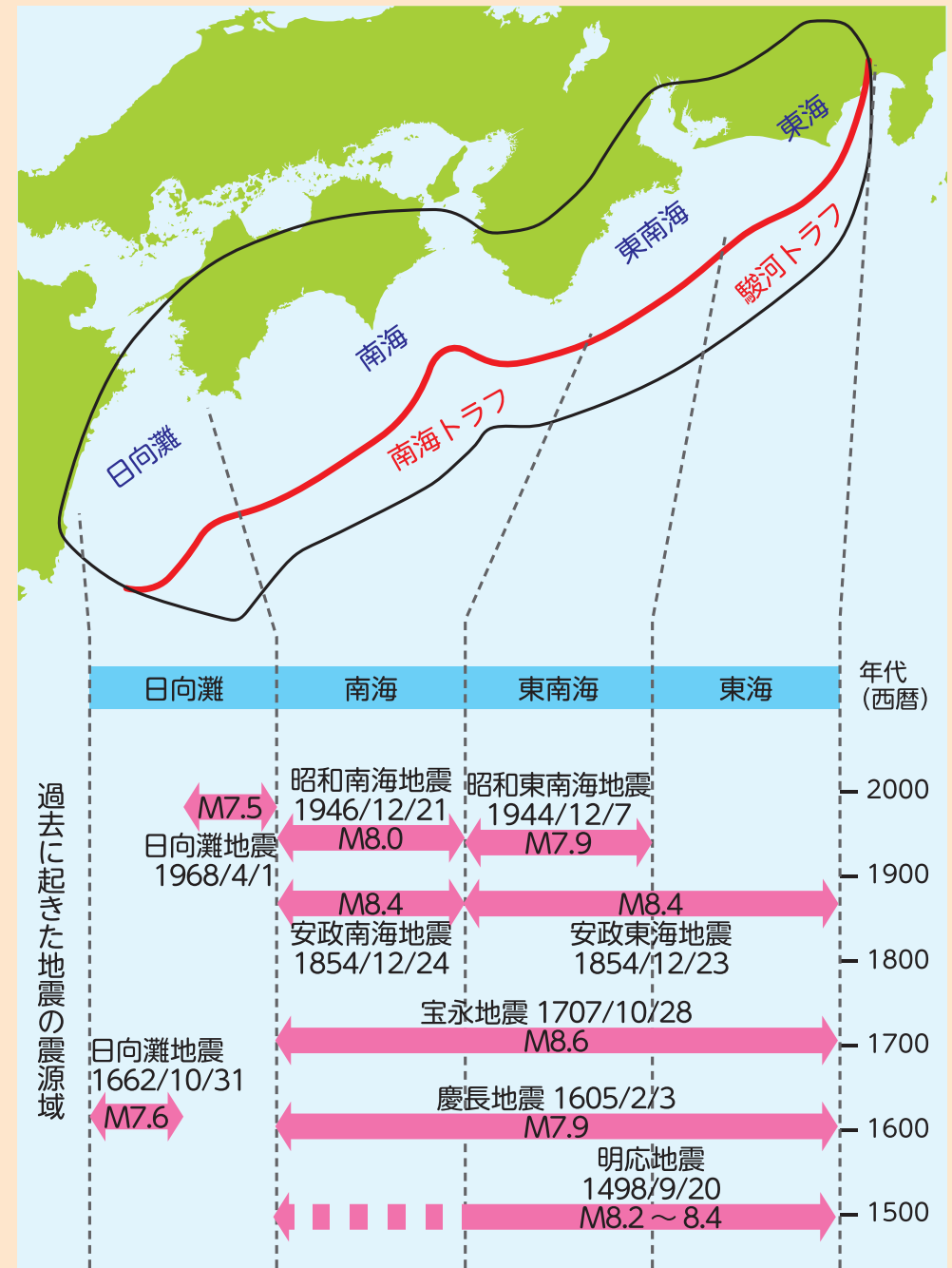


赤石豊浦神社石碑

安政南海地震の津波による多くの被害の記録と高い所へ避難することの重要性を記す。

徳島県では、南海トラフ沿いで最大クラスの地震・津波が悪条件下において発生した場合に想定される被害をとりまとめました。

この被害想定では、津波による浸水、地震による建物・人的被害などを想定しており、小松島市でも甚大な被害が予測されています。



# 小松島市の被害想定

地震規模はマグニチュード9クラスで、小松島市では下記のとおり大きな揺れや津波、液状化危険度も極めて高くなると想定されています。

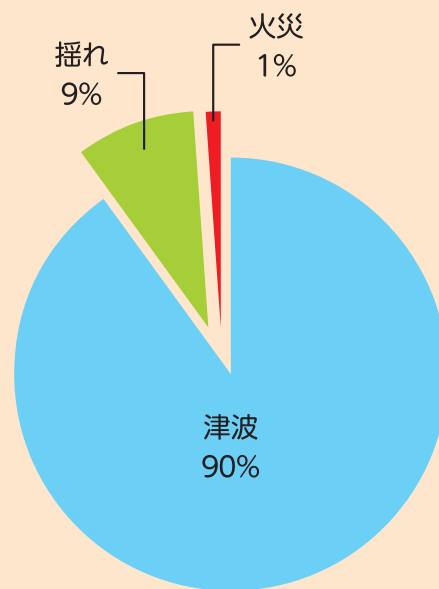
## ● 想定される地震・津波※

「徳島県津波浸水想定」(2012.10.31公表)では、小松島市本港奥で最大波の津波水位5.5mと想定されています。また、沿岸部では局所的に6mを超える地域があります。

マグニチュード	震度
9クラス	6強～7
最大津波水位	液状化危険度
5.5m	極めて高い

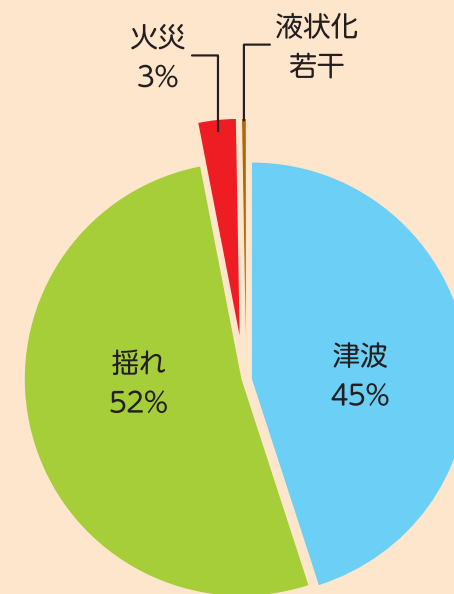
## ● 想定される人的被害※

小松島市では、冬の深夜に地震が発生した場合、最大約5,000人が死亡すると想定されています。



## ● 想定される建物被害※

小松島市では、最大で約8割が全壊または焼失すると想定されています。



※「徳島県津波浸水想定」(2012.10.31公表)、徳島県南海トラフ巨大地震被害想定(第一次)2013.7.31より



# 南海トラフ巨大地震による震度分布

平野部の大部分で震度7、その他の地域で震度6強と大きな揺れが想定されています。

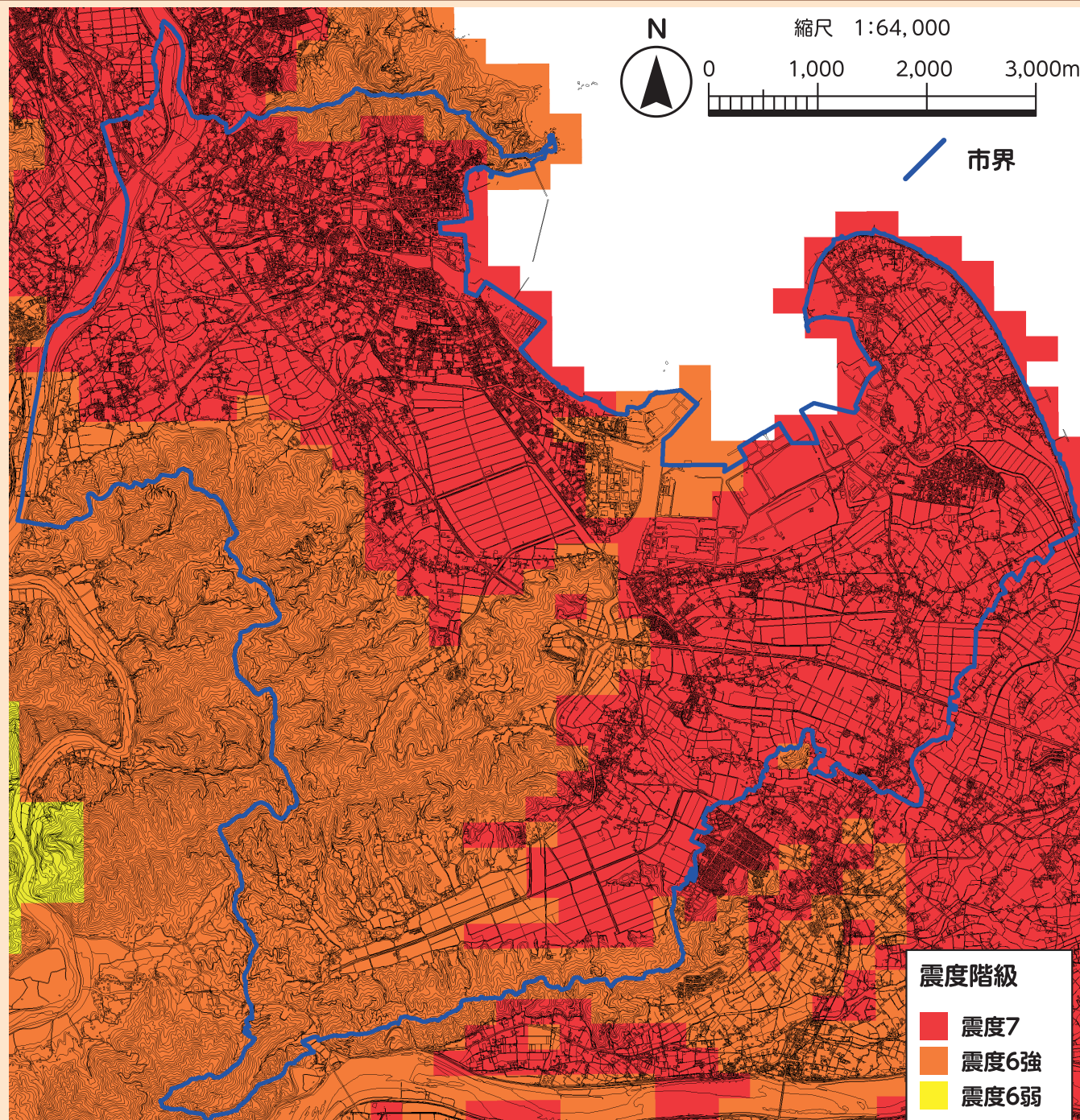
## ● 震度6強

- はわないと動くことができない。飛ばされることもある。
- 固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。
- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。
- 大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。



## ● 震度7

- 耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。
- 耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。
- 耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。



この地図は、国土地理院の基盤地図情報（R2JHs884）に対し、建物や地形等を加工編集したものです。



# 過去の地震・津波による被害

## ● 東日本大震災

東日本大震災では、地震や巨大な津波により死者・行方不明者があわせて1万8千人を超える大災害となりました。しかし、地震の後には津波が来るなど地震による災害を意識し、迅速に避難した人の多くは被害を免れています。事前に備えておくこと、地震後すぐに避難することの大切さなど、日頃から防災について考えておくことが大切です。

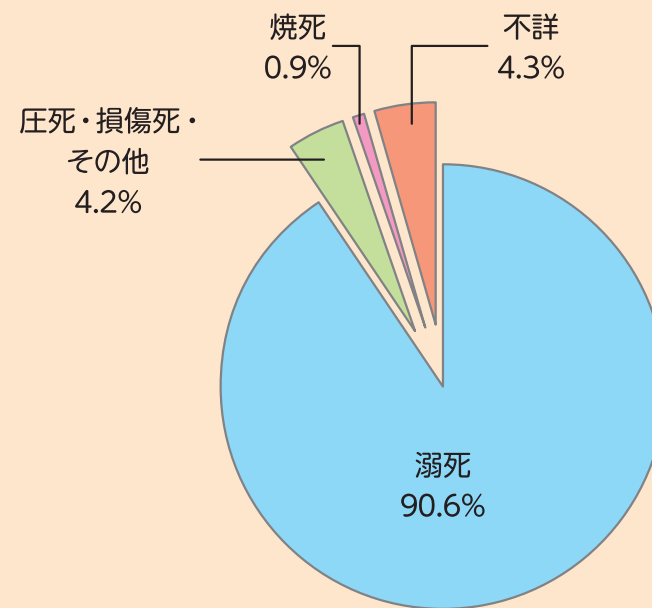
### 東日本大震災の概要

発生日時 <sup>※1</sup>	平成23年3月11日14時46分
マグニチュード <sup>※1</sup>	9.0
最大震度 <sup>※1</sup>	7
津波 <sup>※1</sup>	各地で大津波を観測 (最大波 相馬9.3m以上、石巻市鮎川8.6m以上、 宮古8.5m以上、大船渡8.0m以上)
死者・行方不明者 <sup>※2</sup>	死者 15,899名 行方不明者 2,526名
建物被害(全壊) <sup>※2</sup>	122,000戸

※1 「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第159報) 平成31年3月8日 消防庁災害対策本部」より

※2 「警察庁緊急災害警備本部 広報資料(令和3年3月10日)」より

### 東日本大震災における死因の割合



「東日本大震災記録集 平成25年3月 消防庁」  
(平成24年8月31日時点)より



# 津波の浸水想定について

## ● 津波浸水想定の設定条件

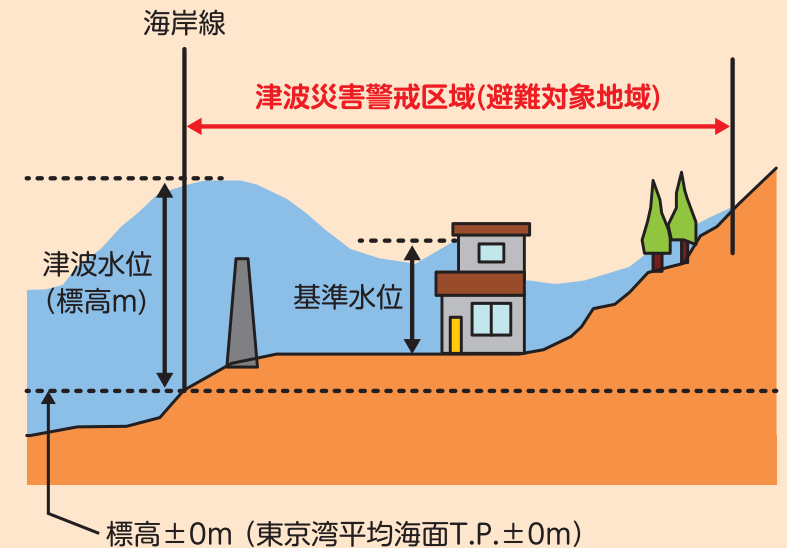
想定津波		南海トラフ巨大地震(マグニチュード9.1)による最大クラスの津波
初期水位	潮位	朔望平均満潮位 <sup>※</sup> (平成19~23年) 大潮の時期(朔と望)の最高満潮位の平均
	河川内の水位	平水流量による水位または、沿岸の朔望平均満潮位

※朔望平均満潮位(さくぼうへいきんまんちょうい)  
朔(新月)及び望(満月)の日から5日以内に現れる、各月の最高満潮面の平均値

構造物の取り扱い	堤防・護岸・防潮堤	コンクリート構造物:地震によりすべて破壊 盛土構造物:地震により75%沈下し、津波が乗り越えた時点で破壊
	水門等	耐震性を有し自動化された施設、常時閉鎖の施設等以外、開放状態
	建築物	建物の代わりに津波が遡上するときの摩擦(粗度)を設定

## ● 留意事項

- 「津波災害警戒区域」は、津波が発生した場合に生命・身体に危害が生ずるおそれがある区域で、徳島県が「津波浸水想定(平成24年10月)」を基に指定するものです。
- 小松島市では、津波災害警戒区域を避難対象地域としています。
- 「基準水位」とは、津波浸水想定に定める水深に係る水位に建築物等に衝突する津波の水位の上昇(せき上げ)を考慮して、必要と認められる値を加えて定める水位です。
- 「基準水位」の数値は、徳島県ホームページで閲覧できます。
- 津波浸水想定は、**最大クラスの津波が悪条件下で発生**した場合を想定されたものです。また最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が想定される津波から設定したものであり、**これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。**
- 河川や池、沼、水路は、着色されていませんが、津波の遡上等により浸水することがあります。
- この津波ハザードマップは、津波防災地域づくりに関する法律第55条に基づき、津波から避難するために必要な事項を掲載しています。

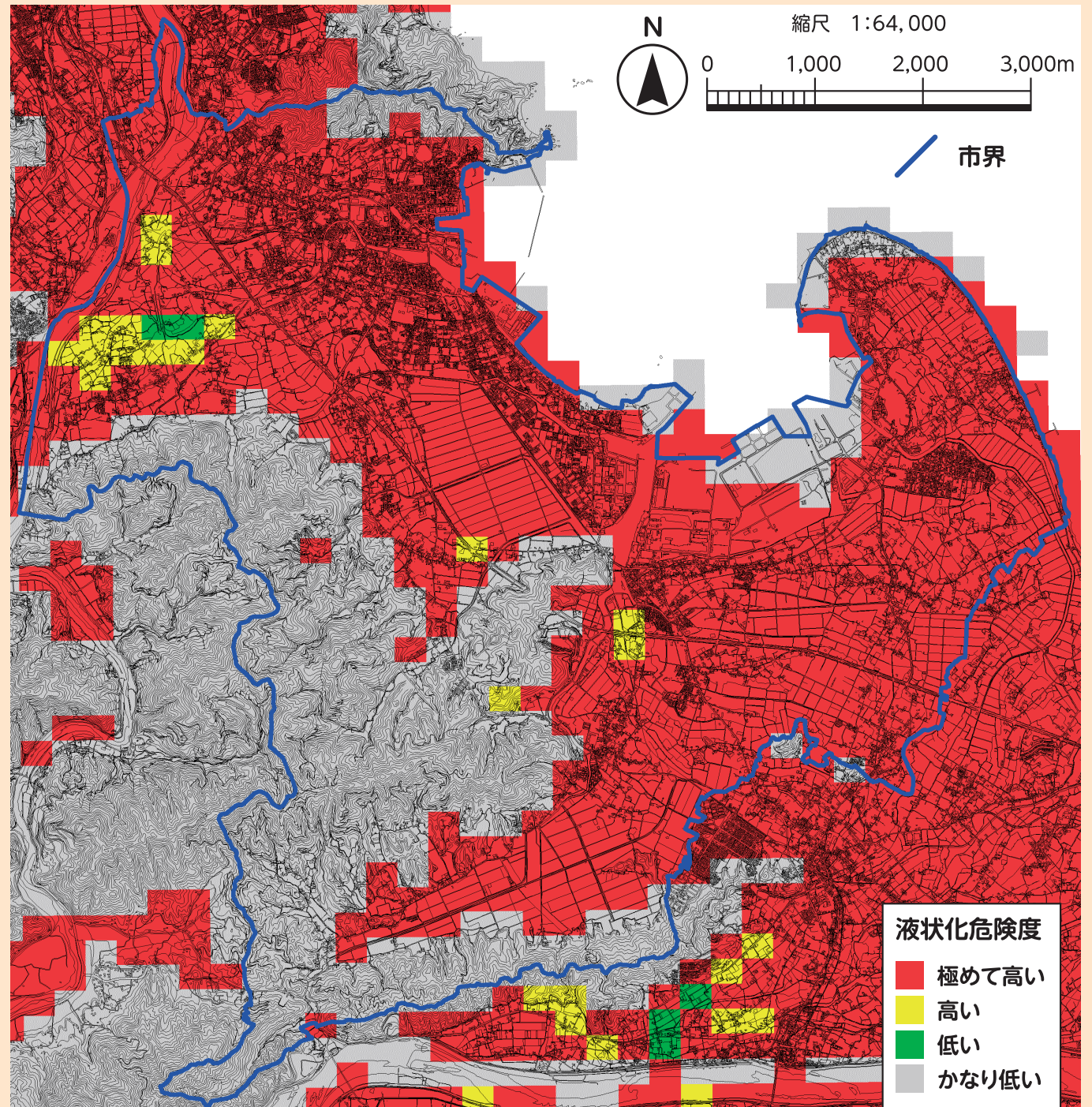
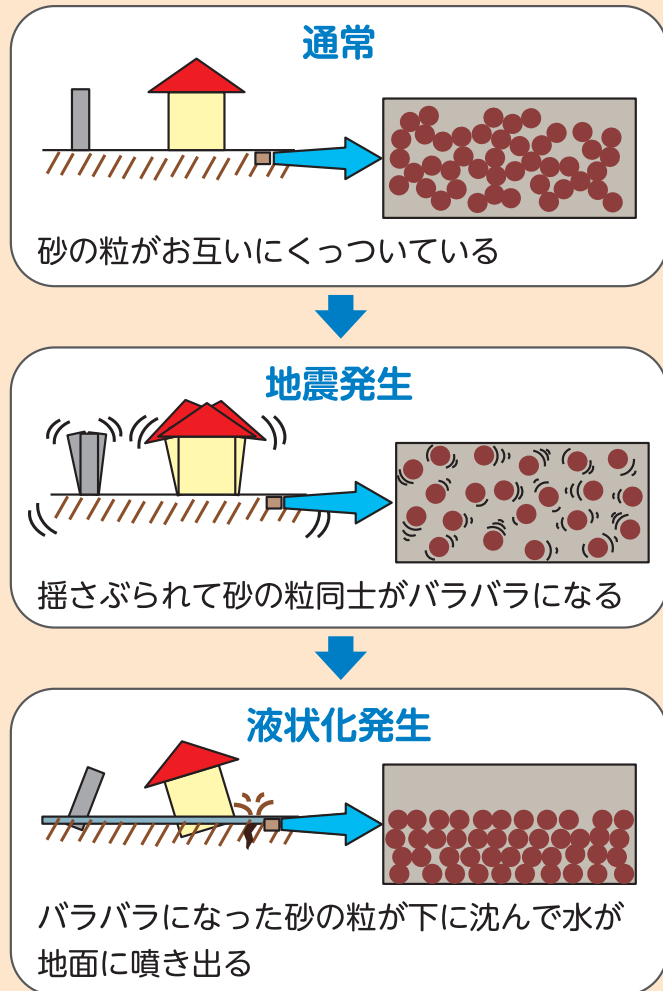




# 南海トラフ巨大地震による液状化危険度

平野部の大部分で液状化の危険度が極めて高くなっています。液状化危険度が低いとされた区域においても、埋め立て地などでは液状化の可能性が高くなる可能性があります。

## ● 液状化現象の発生メカニズム



この地図は、国土地理院の基盤地図情報 (R2JHs884) に対し、建物や地形等を加工編集したものです。



## ● 大津波警報・津波警報・注意報

気象庁は、地震が発生してから約3分（一部の地震<sup>※</sup>については約2分）を目標に、大津波警報、津波警報または津波注意報を、津波予報区単位で発表します。この時、予想される津波の高さは、通常は5段階の数値で発表します。

※日本近海で発生し、緊急地震速報の技術によって精度の良い震源位置やマグニチュードが迅速に求められる地震

種類	発表基準	発表される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
		数値での発表 (津波の高さ予想の区分)	巨大地震の 場合の発表		
大津波警報	予想される津波の高さが高いところで3mを超える場合	10m超 (10m<予想高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。 津波は繰り返し襲ってくるので、大津波・津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれます。
		10m (5m<予想高さ≤10m)			
		5m (3m<予想高さ≤5m)			
津波警報	予想される津波の高さが高いところで1mを超え、3m以下の場合	3m (1m<予想高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生し、人は津波による流れに巻き込まれます。
津波注意報	予想される津波の高さが高いところで0.2m以上、1m以下の場合であって、津波による災害のおそれがある場合	1m (0.2m<予想高さ≤1m)	(表記しない)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。 津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれ、養殖いかだが流失し小型船舶が転覆します。

### 避難のポイント

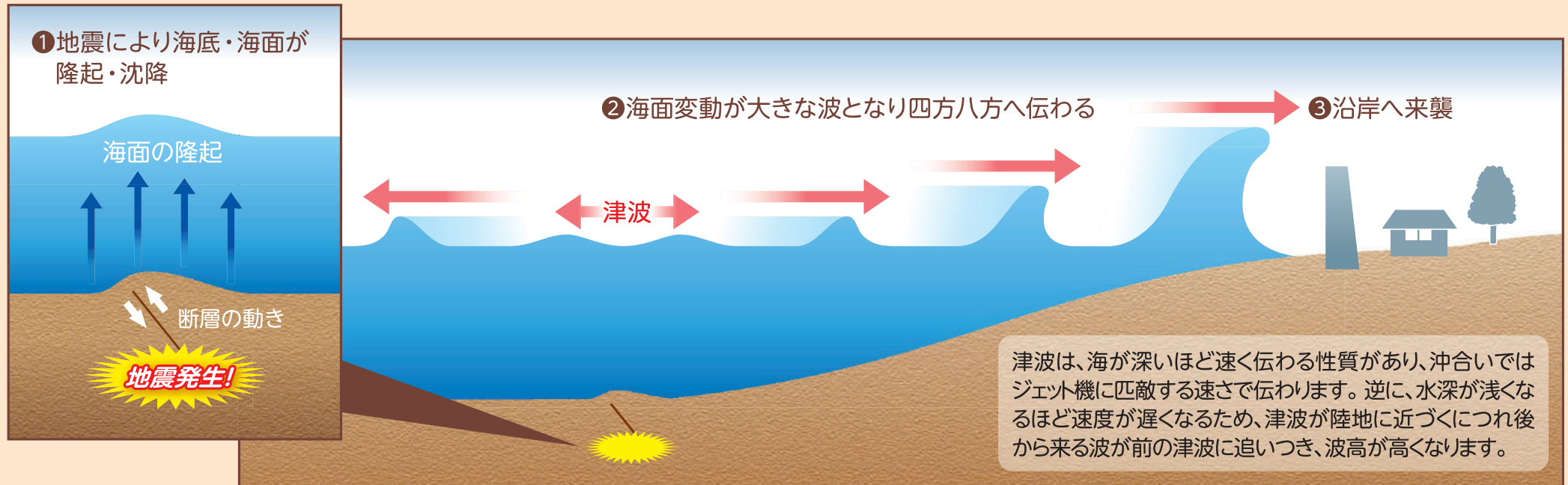
- 震源が陸地に近いと大津波警報・津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。
- 津波の高さを「巨大」と予想する大津波警報が発表された場合は、東日本大震災のような巨大な津波が襲うおそれがあります。ただちにできる限りの避難をしましょう。
- 津波は沿岸の地形等の影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。
- 津波は長い時間くり返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。



## ● 津波発生と伝わり方のしくみ

海底下で大きな地震が発生すると、断層運動により海底が隆起もしくは沈降します。これに伴って海面が変動し、大きな波となって四方八方に伝わるものが津波です。

「津波の前には必ず潮が引く」という言い伝えがありますが、必ずしもそうではありません。地震が発生させた地下の断層の傾きや方向、また、津波が発生した場所と海岸との位置関係により、潮が引くことなく最初に大きな波が海岸に押し寄せる場合もあります。津波は引き波で始まるわけではありません。



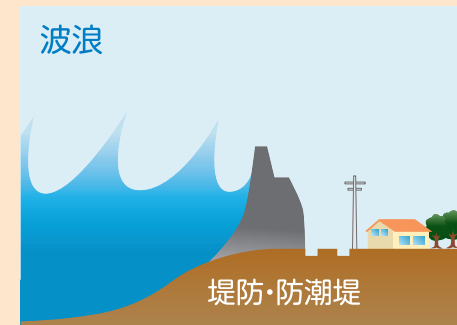
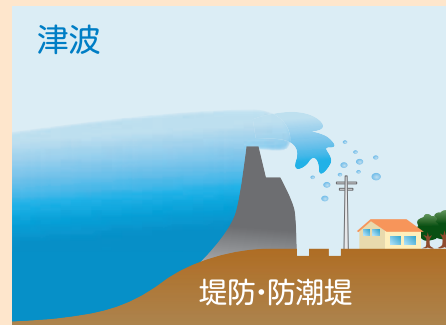
## ● 津波の特徴

地震・津波はいつ、どこで発生するか分かりません。津波が到達するおそれがある場所にいるときは、できるだけ早く、高いところに逃げる必要があります。津波の特徴を知り、身を守るためのポイントをしっかりと確かめておきましょう。

### 恐るべき津波の破壊力

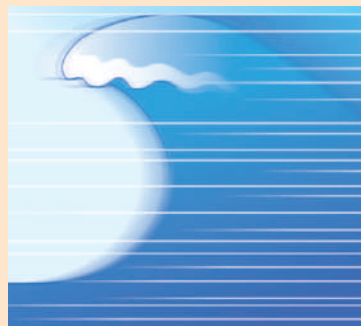
普通の波（波浪）と違い、津波は海底地盤の上下による海水全体の動きのため、海底から海面までのすべての海水が巨大な水の塊となって沿岸に押し寄せ、その破壊力は凄まじいものとなります。

引き波も長時間にわたり引き続けるために、家屋などが一気に海中へと引き込まれてしまいます。



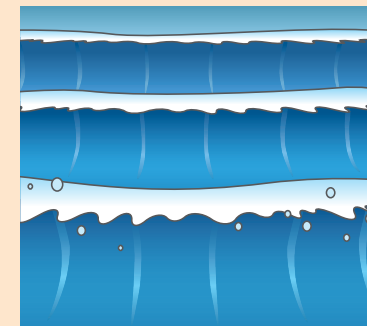
### 津波の速度は速い

津波の陸上をさかのぼるときの速さは、時速 36 km程度になります。これはオリンピックの短距離走者並みの速さです。津波が見えてから、走って逃げ切ることは非常に困難です。



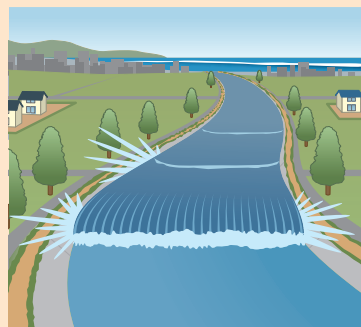
### 津波は繰り返し来襲する

津波は繰り返し襲ってきます。また、最初の波が最も大きいとは限りません。一度波が引いても、津波注意報が解除されるまでは気を抜かず、避難を続けましょう。



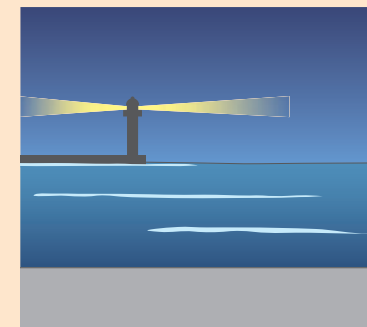
### 津波は河川を遡上する

津波は河口から侵入し、何キロメートルも上流に遡上（逆流）することがあります。遡上した津波が、河川堤防を越えて沿川地域に大きな被害をもたらすことがあります。



### 引き潮があるとは限らない

津波は引き潮から始まるとは限りません。よく、津波の前には引き潮があると言われていますが、地震の種類や震源付近の地形などの影響によっては、いきなり津波が襲ってくることがあります。



## 小松島市の津波到達予想時間

小松島市における地震発生からの津波到達予想時間は、「徳島県津波浸水想定」（2012.10.31公表）に基づき、小松島市本港奥での初期水位+20cm（津波影響開始時間※<sup>1</sup>）の到達時間である“41分”を基本としますが、30cm到達時間※<sup>2</sup>と比較して、41分以前に浸水が想定される地域については、地域ごとに30cm到達時間を津波到達予想時間とします。

各地域において、地震発生から津波到達予想時間までに避難場所への避難が完了することを目指して早めの避難行動をとってください。

※1 津波影響開始時間：海域を伝播してきた津波により、海辺にいる人々の人命に影響が出るおそれのある水位変化

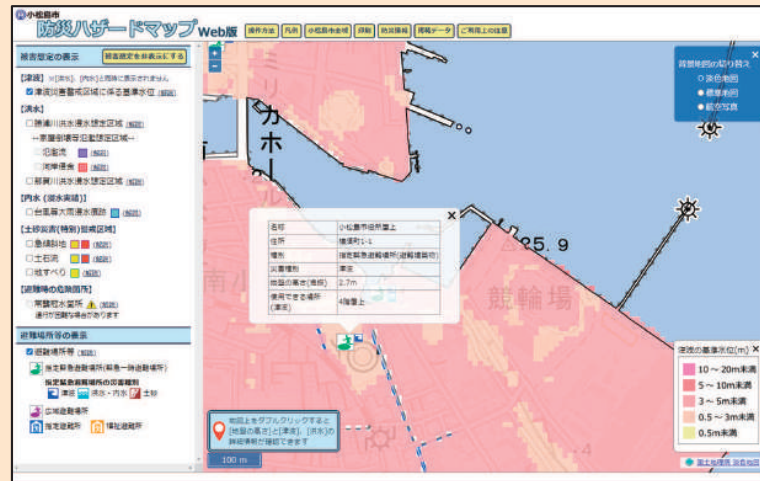
※2 30cm到達時間：陸域における浸水深が30cmに到達する時間

地域	津波到達 予想時間（分）
小松島	41
南小松島	41
北小松島	41
千代	41
児安	41
芝田	41
立江	41
櫛漕	41
坂野	37
和田島	35
新開	36

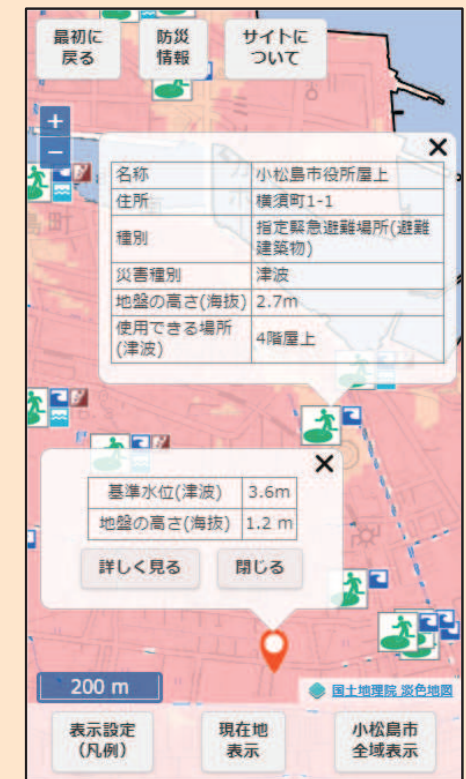


## ● 小松島市防災ハザードマップ Web 版 (2019年4月運用開始)

那賀川及び勝浦川の洪水による浸水想定区域図(想定最大規模)、土砂災害による危険区域、津波災害警戒区域に係る基準水位(津波緊急一時避難場所に必要な高さの基準)及び避難場所等をパソコンやスマートフォン等で確認することができるデジタル版ハザードマップです。



パソコン



スマートフォン

小松島市防災ハザードマップweb版



小松島市洪水・土砂災害ハザードマップ 紙版

## ● 小松島市洪水・土砂災害ハザードマップ 紙版(2019年3月作成)

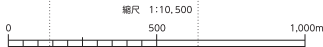
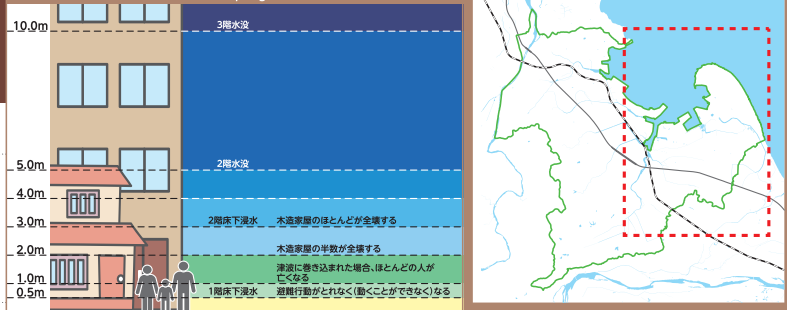
市内の洪水や土砂災害に対して警戒が必要な場所や最寄りの避難場所等を確認できます。



# 津波ハザードマップ 東部

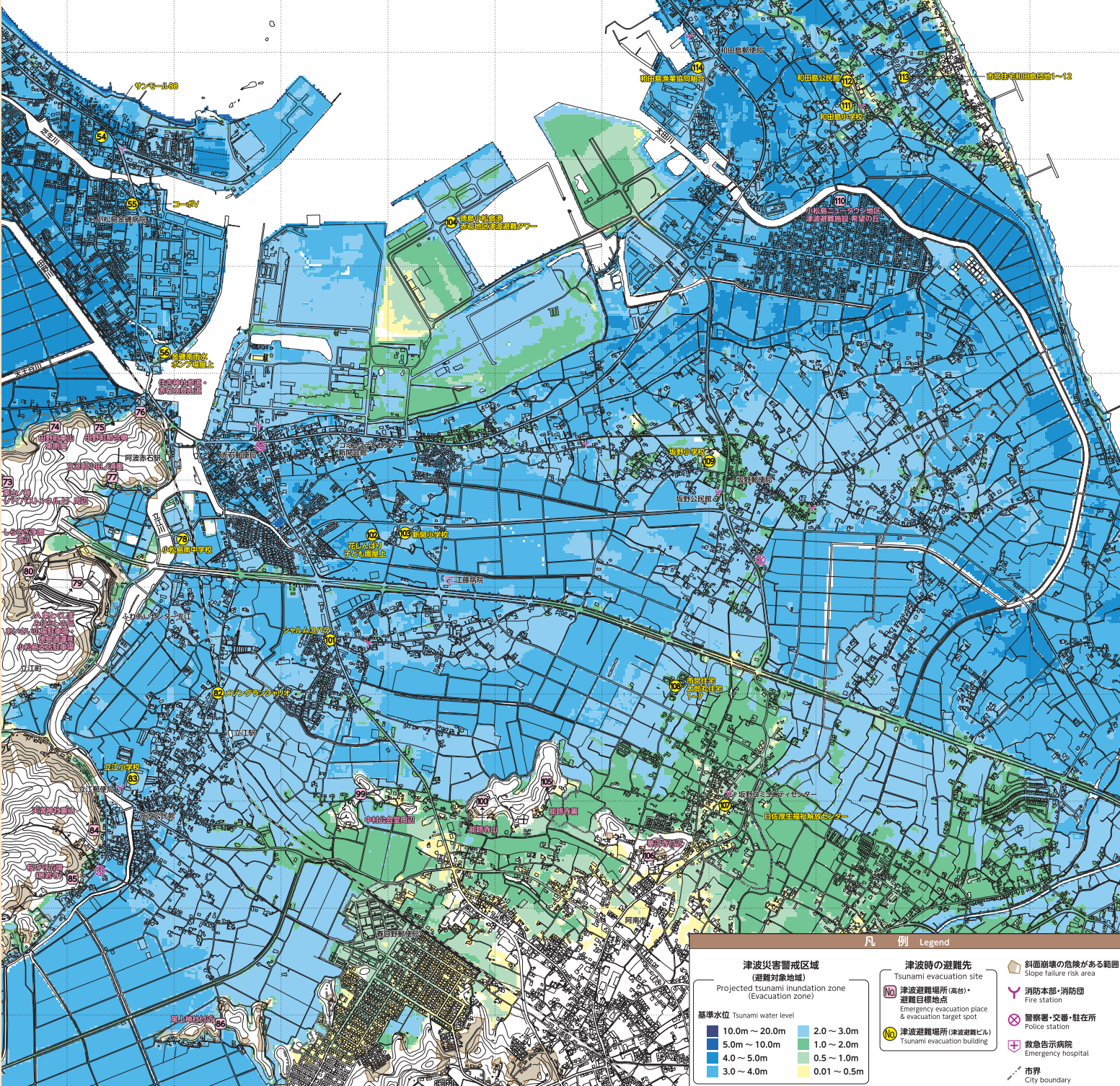
The Tsunami Hazard Map of Komatsushima City / East

基準水位の深さの目安 Depth guide of tsunami water level



## 津波時の避難先 Tsunami evacuation site

地域	No	避難先名	利用できる場所	避難可能人数
南小松島	54	サンモール88	3階共用廊下	22人
	55	コーポV	3階共用廊下	10人
	56	金鏡南雨水ポンプ場屋上	3階屋上	450人
	73	東山ノ榊(バイパストンネル上)周辺	-	-
	74	田野町東山東側奥	-	1,150人
芝田	75	田野町野合奥	-	100人
	76	住吉神社参道・赤石山登山道	-	1,330人
	77	立江町小田ノ浦奥	-	-
	78	小松島南中学校	校舎3階～5階(一部除く)	2,922人
	79	J/A東とくしまはらしの丘あさい広場駐車場・徳島通運株小松島支店駐車場	-	-
立江	80	しらすぎ浄園周辺	-	-
	81	メゾングランシャリオ	3～4階共用部分(廊下・階段室)	22人
	82	立江小学校	校舎3階(一部除く)	172人
	84	天満神社裏山	-	-
	85	桜の守広場(景岩寺)	-	-
新開	86	尾上神社付近	-	-
	99	中村公会堂周辺	-	-
	100	能路寺山	-	-
	101	シャルムコハフ	3階共用廊下	17人
	102	花しんばり子ども園屋上	2階屋上	708人
坂野	103	市営住宅太郎丸住宅1～7	3階共用廊下	各棟11人
	104	坂野小学校	校舎3階以上(一部除く)、3階屋上	2,080人
	110	小松島ニュータウン地区津波避難施設 希望の丘	-	920人
	111	和島小学校	校舎3階(一部除く)、3階屋上	1,017人
	112	和島公民館	2階屋上	166人
和島島	113	市営住宅和島島地1～12	3階共用廊下	各棟9人
	114	和島島漁業協同組合	3階会議室	100人
	115	海上自衛隊小松島航空基地 体育館	2階以上	484人



**凡例 Legend**

**津波災害警戒区域 (避難対象地域)**  
Projected tsunami inundation zone (Evacuation zone)

**津波時の避難先 (避難対象地)**  
Tsunami evacuation site

**津波避難場所(高台)・避難目標地点**  
Emergency evacuation place & evacuation target spot

**津波避難場所(津波避難ビル)**  
Tsunami evacuation building

**斜面崩壊の危険がある範囲**  
Slope failure risk area

**消防本部・消防団**  
Fire station

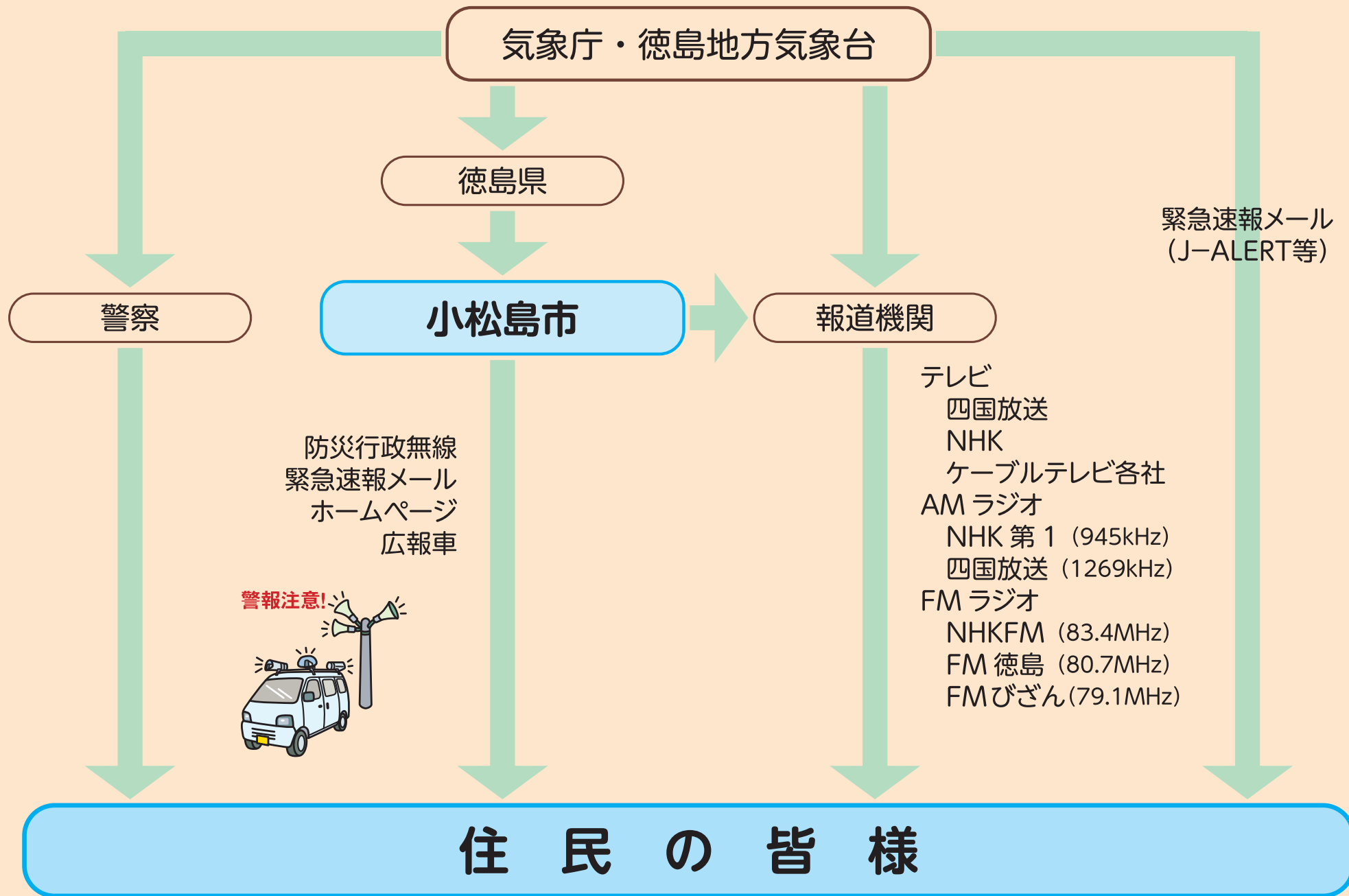
**警察署・交番・駐在所**  
Police station

**救急告示病院**  
Emergency hospital

**市界**  
City boundary

マップ内の点線は500m間隔  
この地図は、国土地理院の基礎地図情報(R2JHs884)に対し、建物や地形等を加工編集したものです。

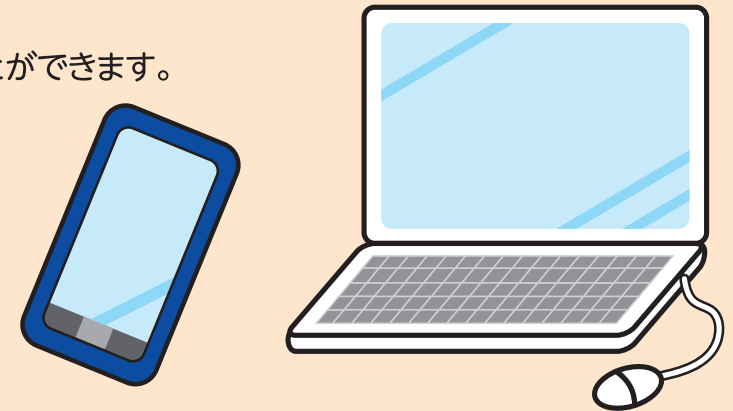
# 情報の伝達経路





防災情報は、テレビ・ラジオ・防災行政無線のほか、インターネットなどからも確認することができます。  
自ら情報を収集し、危険を感じたときには自主的に避難しましょう。

テレビのリモコンで「dボタン」を押すと防災に関する情報を確認できます。  
防災行政無線の放送内容を確認したいときは、放送内容確認電話で聞くことができます。



放送内容確認電話：0885-35-4000

## 小松島市ホームページ

小松島市の様々な情報、避難情報についてお知らせします。

<https://www.city.komatsushima.lg.jp>



## 安心とくしま

県内の緊急災害情報等が確認できます。

<https://anshin.pref.tokushima.jp>



## 徳島県総合地図提供システム

津波災害警戒区域等が確認できます。

<https://maps.pref.tokushima.lg.jp>



## すだちくんメール

気象情報、水位情報、安否確認等をメールで配信します。

<https://s.ourtokushima.jp>

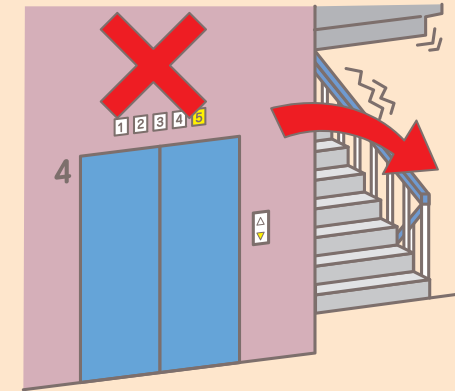
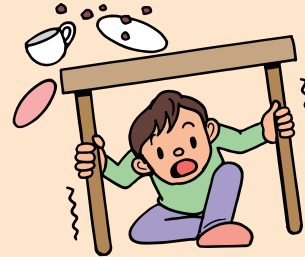


# 地震の対応

地震発生時には、自分の身を守ることを第一に考え、落ち着いて行動しましょう。

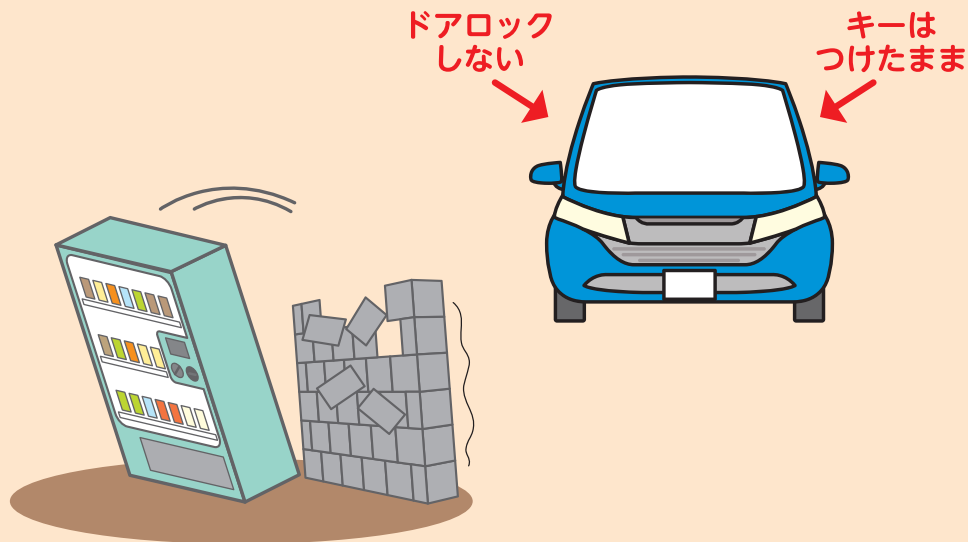
## ● 屋内での対応

- 落ち着いて、丈夫な机の下など、安全な場所に避難。
- ドアや窓を開けて、避難口（出口）を確保。
- 揺れがおさまってから、火の始末やガスの元栓を閉める。
- 避難にエレベーターを使用しない。
- エレベーターの中で大きな揺れを感じたら、すべての階のボタンを押し、停止した階でエレベーターから出る。
- エレベーターに閉じ込められたら、非常ボタンやインターホンで連絡し、救助を待つ。
- 店舗、商業施設内では、手荷物等で頭を保護し、商品の棚から離れ、係員の指示に従い落ち着いて行動する。



## ● 屋外での対応

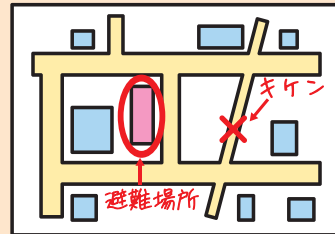
- 車の運転中では、緩やかに減速して道路の左側に停車し、揺れがおさまるまで車外に出ない。
- 車外へ避難するときは、車検証や貴重品を携帯し、車のキーはつけたままドアロックもしない。
- 倒壊のおそれがあるため、建物・ブロック塀・自動販売機等から離れ、落下物に注意しながら避難。
- 列車内では、将棋倒しや棚からの落下物に注意し、つり革や手すりにつかまる。座っているときは、状態を前かがみにしてカバン等で頭を保護する。
- 海岸付近では、海を見に行かず、すぐに避難場所へ避難する。





● ハザードマップを確認

いざという時のためにハザードマップを活用して、安否確認の方法、避難先（津波時の避難先及び安全な親戚・知人宅など）や安全な避難経路を確認し、家族等で話し合っておきましょう。



● 非常持出品の準備

避難するときに持ち出す「非常持出品」を事前に準備して、持ち出しやすい場所に保管しておきましょう。乳幼児や高齢者等がいる場合など必要な物が異なるため、家族構成にあわせた準備が必要です。また、非常持出品を定期的に点検し、古い物は交換しましょう。（ローリングストック\*の活用）  
\*ローリングストック：非常食や日常の加工食品を定期的に飲食し、使用した分を補充するという備蓄方法



非常用持出袋に詰めておきたいもの

- |   |                                    |                                   |                                   |                                    |
|---|------------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貴重品 現金（公衆電話用に10円、100円硬貨）・免許証（コピー）・保険証（コピー）・鍵・通帳（コピー）・印鑑 など | <input type="checkbox"/> 家族の連絡先    | <input type="checkbox"/> 携帯電話     | <input type="checkbox"/> 携帯ラジオ    | <input type="checkbox"/> タオル・ティッシュ |
| <input type="checkbox"/> ヘルメット・防災頭巾・帽子  | <input type="checkbox"/> 乾電池・充電器など | <input type="checkbox"/> 手袋（作業用）  | <input type="checkbox"/> ビニール袋    | <input type="checkbox"/> ホイッスル     |
| <input type="checkbox"/> 懐中電灯・ヘッドライト  | <input type="checkbox"/> マスク       | <input type="checkbox"/> 消毒薬      | <input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 歯みがきセット   |
| <input type="checkbox"/> 食料   | <input type="checkbox"/> 飲料水       | <input type="checkbox"/> 常備薬・お薬手帳 | <input type="checkbox"/> 歯みがきセット  |                                    |
| <input type="checkbox"/> 携帯トイレ  | <input type="checkbox"/> 衣類        | <input type="checkbox"/> 雨具       |                                   | など                                 |

あると便利なもの

- |                                    |  |  |                                 |
|------------------------------------|--|--|---------------------------------|
| <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 毛布・ブランケット     | <input type="checkbox"/> ビニールシート類      | <input type="checkbox"/> ラップ    |
| <input type="checkbox"/> 万能ナイフ類    | <input type="checkbox"/> ハンカチ（大判）・手ぬぐい | <input type="checkbox"/> 筆記用具（油性ペン）    | <input type="checkbox"/> 布ガムテープ |
| <input type="checkbox"/> 救急用品セット   | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ       | <input type="checkbox"/> 安全ピン          | <input type="checkbox"/> ロープ    |
| <input type="checkbox"/> 簡易トイレ     | <input type="checkbox"/> ライター（マッチ）     | <input type="checkbox"/> 割り箸、紙皿などの簡易食器 | など                              |

乳幼児がいる場合

粉ミルク、離乳食、おむつ、おしりふき など

高齢者がいる場合

入れ歯、介護食、大人用おむつ など

メガネ・コンタクトレンズを使用している場合

予備メガネ・コンタクトレンズ など

疾患のある人がいる場合

主治医連絡先、持病薬、在宅医療用品 など

ペットがいる場合

リード、ケージ、トイレ用品、ペットフード など

その他

生理用品、母子手帳、障がい者手帳 など

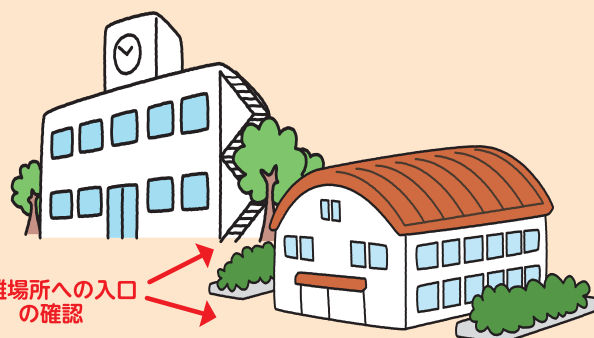
感染症対策として、マスク・消毒薬などの衛生用品も持参できるように準備しておきましょう。

注：浸水の継続や孤立した場合を考慮し、避難の長期化に対応した備えをしておきましょう。

● 地域の防災活動

避難行動や災害時の初動などを適切に行うには、日頃の訓練が欠かせません。地域で協力し合いながら危険箇所や避難時に支援が必要な人の把握など災害対策を行い、防災訓練などの自主防災活動に参加しましょう。

防災訓練は、安全な避難方法や救急方法の取得ができる場です。積極的に参加し、安全な避難行動の練習を行っておきましょう。



確認事項の例

・避難場所等 ・避難経路 ・危険箇所 ・非常持出品 ・連絡先 など

## 避難の心得

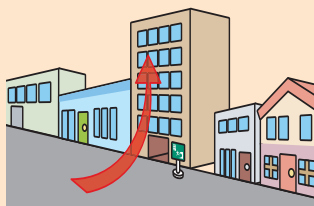
津波から身を守るには、避難する以外に方法はありません。揺れがおさまったらただちに避難しましょう。

### ● 早期避難

揺れがおさまったら、大津波警報、津波警報や津波注意報の発表を待たずに、ただちに安全な場所へ避難しましょう。

### ● 高い場所へ避難

海岸から「より遠く」ではなく、「より高い」近くの避難場所へ避難しましょう。ただし、避難可能人数に制限がある場合を考慮し、複数の避難先を考えておきましょう。



### ● 正確な情報収集

安全な場所に移動してから、防災行政無線やラジオ等から最新の正しい情報を収集しましょう。



### ● 避難行動要支援者の避難支援

避難行動要支援者とは、一般に高齢者や障がい者、乳幼児や妊産婦、日本語を十分理解できない外国人の方々などが該当します。地域で協力し合いながら、近所の高齢者、障がいのある方等の安否確認、避難施設への移動を支援しましょう。

### ● 動きやすい服装で避難

両手が自由に使えるように、持ち物はリュックに背負いましょう。また、長靴よりひも付き運動靴で避難しましょう。



### ● 徒歩での避難

車での避難は、緊急車両通行の妨げ、渋滞、道路が大きく破損している可能性もあり危険を伴うこともあります。やむを得ない場合を除いては徒歩で避難しましょう。



### ● 複数人で避難

1人で避難すると、万一の事故のときに助けてくれる人がいない場合があります。2人以上での行動を心がけましょう。

### ● 海岸や河川に近づかない

津波警報や津波注意報が解除されるまでは、海岸や河川には絶対に近づかないでください。

### ● 戻らない

津波は繰り返し襲ってくるため、津波警報や津波注意報が解除されるまで絶対に戻らないでください。

## 防災対策事業

小松島市では、以下の防災対策事業を行っています。(2022年3月時点)  
2022年4月以降の事業内容・申し込み方法・期間などの詳細については小松島市ホームページをご覧ください。

小松島市ホームページ：<https://www.city.komatsushima.lg.jp/>  
都市整備部 住宅課：TEL 0885-32-2120

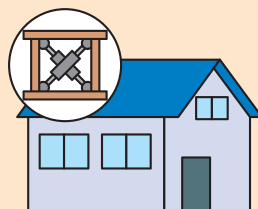
### ● 耐震診断支援事業

平成12年5月31日以前に着工された木造住宅（空き家も含む）で、  
・在来軸組構法・伝統的構法・枠組壁工法による住宅  
（丸太工法やプレファブ工法は除く）  
・地上3階までの住宅  
（戸建、長屋、併用住宅及び共同住宅で賃貸を含む）  
の要件を満たすものが対象です。



### ● 木造住宅耐震改修支援事業（本格改修）

改修後の上部構造評点1.0以上とする耐震改修工事（建て替え工事は該当しません）費用を補助します。  
平成12年5月31日以前に着工された木造住宅で、  
・市が指定する木造住宅耐震診断で、改修前の上部構造評点が1.0未満と診断された住宅  
の要件を満たすものが対象です。



### ● 耐震シェルター設置支援事業

耐震シェルターを設置する工事または耐震ベッドを設置する工事費用を補助します。  
平成12年5月31日以前に着工された木造住宅で、  
・市が指定する木造住宅耐震診断で、改修前の上部構造評点が1.0未満と診断された住宅  
・現在居住している住宅  
の要件を満たすものが対象です。

### ● 住まいのスマート化支援事業

耐震改修支援事業または、耐震シェルター設置支援事業とあわせて行うスマート化工事費用を補助します。  
平成12年5月31日以前に着工された木造住宅で、  
・市が指定する木造住宅耐震診断で、改修前の上部構造評点が1.0未満と診断された住宅  
の要件を満たすものが対象です。

### ● 民間建築物耐震化支援事業

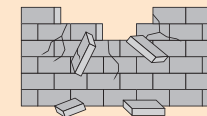
木造住宅以外の建築物の耐震診断・耐震改修へ助成します。

### ● 住宅の住替え支援事業

耐震性のない木造住宅からの建替えや住替えに伴う除却費用を補助します。  
昭和56年5月31日以前に着工された木造住宅で、  
・市が指定する木造住宅耐震診断で、改修前の上部構造評点が0.7未満と診断された住宅  
・現在居住している住宅  
の要件を満たすものが対象です。

### ● 危険ブロック塀等除却支援事業

地震時などに倒壊等するおそれのある、危険な市内のブロック塀等について、その所有者が除却工事（撤去工事）を行う場合に補助金を交付します。

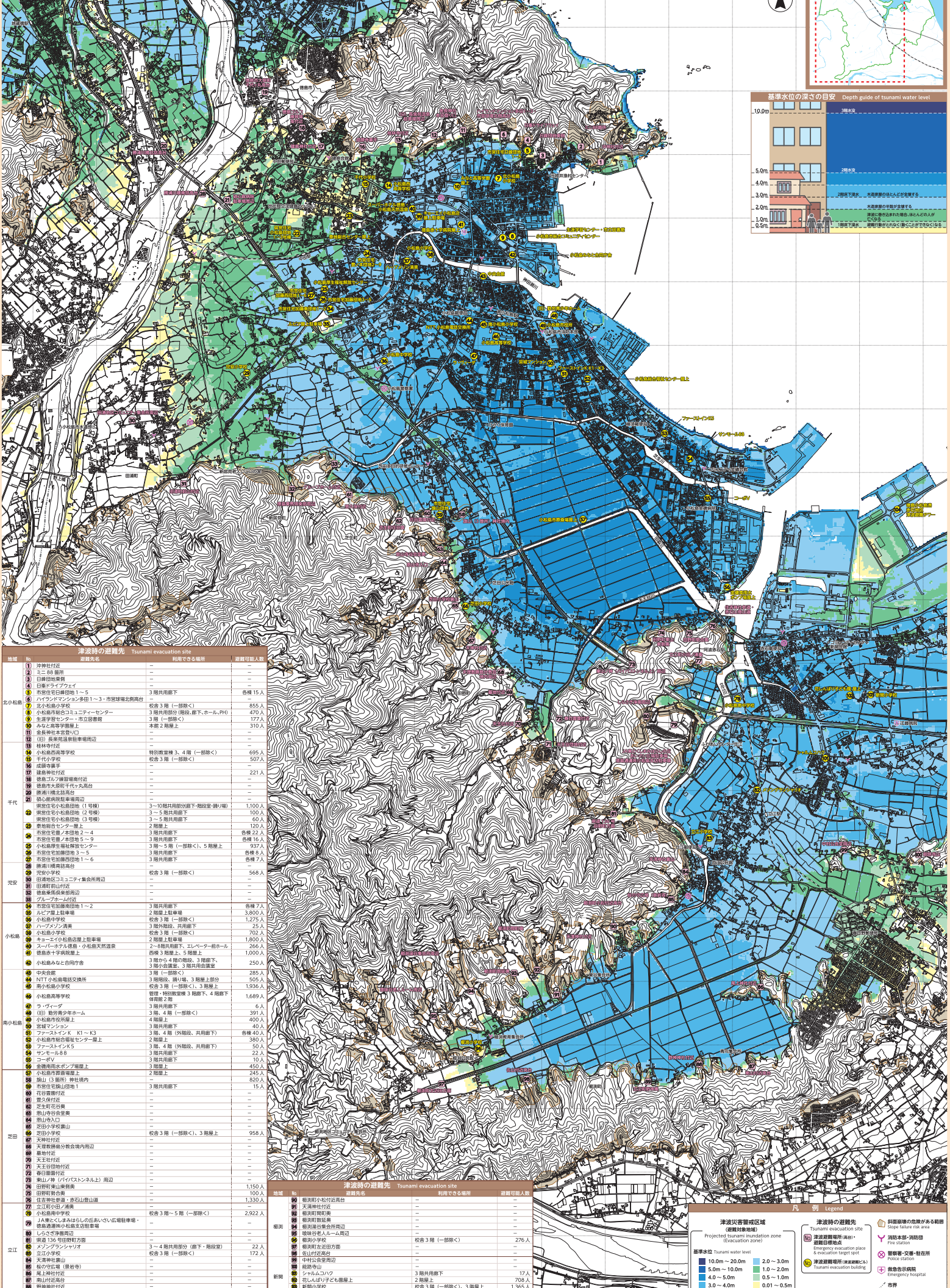
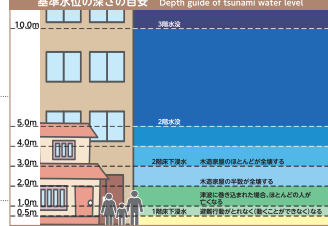




# 津波ハザードマップ 西部

## The Tsunami Hazard Map of Komatsushima City / West

縮尺 1:10,500



地域	避難先 No.	避難先名	利用できる階層	避難可能人数
北小松	1	沖津社行宮	-	-
	2	三毛屋	-	-
	3	日輪団地東棟	-	-
	4	日輪ドライブウェイ	-	-
	5	市民会館(避難場所)1-5	3階共用階下	各棟15人
	6	ハルノドマンション多田1-3	3階共用階下	-
	7	北小松南小学校	校舎3階(一部除く)	855人
	8	小松市総合コミュニティセンター	3階共用部分(階段、廊下、ホール等)	470人
	9	市民学習センター・市民図書棟	3階(一部除く)	177人
	10	みなと高等学園上	本館2階上	310人
千代	11	富島神社(本堂前)	-	-
	12	(旧) 富島東海岸児童遊園地	-	-
	13	経林寺付	-	-
	14	小松南高等学校	特別教室棟3、4階(一部除く)	695人
	15	千代小学校	校舎3階(一部除く)	507人
	16	成瀬寺手	-	-
	17	鎌島神社	-	221人
	18	富島(旧)御前町児童遊園地	-	-
	19	徳島市大塚町千代丸高台	-	-
	20	徳島(備)徳島高台	-	-
兜安	21	心丸山児童遊園地	-	-
	22	御幸住宅小松園地(1号棟)	3-10階共用部分(廊下、階段室(狭い廊))	1,100人
	23	御幸住宅小松園地(2号棟)	3-5階共用階下	100人
	24	御幸住宅小松園地(3号棟)	3-5階共用階下	60人
	25	寄地総合センター上	2階上	120人
	26	市営住宅(本館地)2-4	3階共用階上	各棟22人
	27	市営住宅(本館地)5-9	3階共用階上	各棟16人
	28	小松南学生福祉センター	3階-5階(一部除く)、5階上	937人
	29	市営住宅(本館地)3-5	3階共用階下	各棟8人
	30	市営住宅(本館地)1-5	3階共用階下	各棟7人
小松南	31	兜安小学校	校舎3階(一部除く)	568人
	32	田原地区コミュニティ集会所南	-	-
	33	田原(南)児童遊園地	-	-
	34	兜安東海岸児童遊園地	-	-
	35	ブルブホーム付	3階共用階上	各棟7人
	36	西沢(南)児童遊園地1-2	2階上駐車場	3,800人
	37	ルビア上駐車場	2階上駐車場	3,800人
	38	小松南中校	校舎3階(一部除く)	1,275人
	39	ルビア上(商業)	3階外階段、共用階下	25人
	40	小松南小学校	校舎3階(一部除く)	702人
南小松	41	キョーエの小松店上駐車場	2階上駐車場	1,800人
	42	ルビア上(商業)・小松南天徳堂	2-4階共用階下、エレベーター前ホール	266人
	43	兜安十字交差点	西側3階上、5階上	1,000人
	44	小松南みなと合同庁舎	3階から4階の階段、3階下、2階外階段、2階共用階上	250人
	45	中央会館	3階(一部除く)	285人
	46	NIT 小松南電機交換所	3階階段、狭い廊、3階上部分	505人
	47	南小松南小学校	校舎3階(一部除く)、3階上	1,936人
	48	小松南児童遊園地(3号棟)	階段・階段交差3階下、4階下	1,689人
	49	マイ・アップ	3階共用階上	391人
	50	(旧) 兜安青少年ホーム	3階、4階(一部除く)	400人
兜安	51	市営住宅(本館)上	4階上	40人
	52	愛媛マシソン	3階共用階上	40人
	53	フェアスタック K1-K3	3階、4階(外階段、共用階下)	各棟40人
	54	小松南市総合福祉センター上	2階上	380人
	55	ファーストイン5	3階、4階(外階段、共用階下)	50人
	56	コーポV	3階共用階上	22人
	57	多敷町水先(本館)上	2階上	450人
	58	心丸山児童遊園地	2階上	245人
	59	御山(3号棟) 神社境内	2階上	820人
	60	市営住宅(御山)地1	3階共用階下	15人
志田	61	花巻駅前付	-	-
	62	宮久保付	-	-
	63	若生町花巻	-	-
	64	志田山合宿舎	-	-
	65	志田寺入口	-	-
	66	若生小学校(志田)	-	-
	67	志田小学校	校舎3階(一部除く)、3階上	958人
	68	天徳堂(志田)分館	-	-
	69	天徳堂(志田)分館内階段	-	-
	70	東町付	-	-
立江	71	天玉寺(志田)付	-	-
	72	春日園付	-	-
	73	志田(志田)付(バスターミナル)南	-	-
	74	田原(志田)山車	-	1,150人
	75	田原(志田)山車	-	100人
	76	立江(志田)山車	-	1,330人
	77	立江(志田)山車	-	-
	78	小松南南小学校	校舎3階-5階(一部除く)	2,922人
	79	小松南(志田)児童遊園地	-	-
	80	小松南(志田)児童遊園地	-	-
新郷	81	しんどう学習館	-	-
	82	小松南(志田)児童遊園地	-	-
	83	マンダリンランシオ	3-4階共用部分(廊下・階段室)	22人
	84	立江小学校	校舎3階(一部除く)	172人
	85	天徳堂(志田)分館	-	-
	86	花巻駅前付	-	-
	87	若生町花巻	-	-
	88	志田山合宿舎	-	-
	89	志田寺入口	-	-
	90	若生小学校(志田)	-	-
新郷	91	シムルコフ	3階共用階下	17人
	92	花丸(志田)学ども会館上	2階上	708人
	93	新郷小学校	校舎3階(一部除く)、3階上	1,365人
	94	志田(志田)山車	ステージ	200人
	95	志田(志田)山車	-	-
	96	志田(志田)山車	-	-
	97	志田(志田)山車	-	-
	98	志田(志田)山車	-	-
	99	志田(志田)山車	-	-
	100	志田(志田)山車	-	-

**津波災害警戒区域**  
Projected tsunami inundation zone (Evacuation area)

基準水位 (Tsunami water level)

10.0m ~ 20.0m	2.0 ~ 3.0m
5.0m ~ 10.0m	1.0 ~ 2.0m
4.0 ~ 5.0m	0.5 ~ 1.0m
3.0 ~ 4.0m	0.01 ~ 0.5m

**津波時の避難先**  
Tsunami evacuation site

津波避難場所(海側)・避難目標地点  
Emergency evacuation place & evacuation target spot

津波避難場所(海側)・避難目標地点  
Tsunami evacuation building

**凡例 Legend**

- 避難区域の危険がある範囲 (Scope failure risk area)
- 消防本部・消防団 (Fire station)
- 警察署・交番・駐在所 (Police station)
- 総合病院 (General hospital)
- 市界 (City boundary)

**津波時の避難先**  
Tsunami evacuation site

利用できる階層 (階層可能人数)

この地図は、国土院の基礎地図情報(R2, H3, H84)に、建物や地形等を加工したものです。

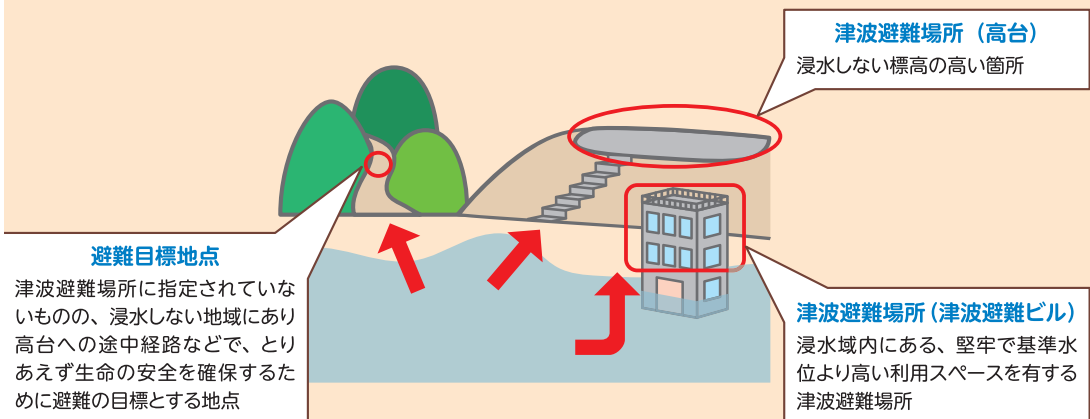


## 施設の種類について

津波時の避難先（津波避難場所（高台・津波避難ビル）、避難目標地点）、要配慮者利用施設、指定避難所、福祉避難所、事前避難所は利用する目的が異なります。災害から身を守る上で、それぞれの意味を把握しておくことが重要となります。

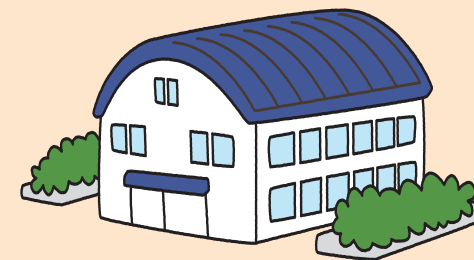
### ● 津波時の避難先

災害の危険から命を守るために緊急的（一時的）に避難をする場所です。  
「津波ハザードマップ 西部」及び「津波ハザードマップ 東部」でご確認ください。



### ● 指定避難所

被災後に自宅へ戻れなくなった住民等が、災害の危険性がなくなるまで必要な期間滞在することを目的とした施設です。  
緊急的（一時的）に避難する津波避難ビルとは異なります。（両方を兼ねた施設も一部あります）  
指定避難所については、小松島市のホームページをご覧ください。



### ● 事前避難所

「南海トラフ地震臨時情報」が発表された場合に、後発地震に備え住民等が事前に避難する施設です。1週間程度の避難を基本とします。  
事前避難所は同施設内に津波避難ビルを有する指定避難所を選定していますが、避難所として利用できる場所は津波来襲時には浸水のおそれがある場所があります。  
大きな揺れを感じた際には、施設内の津波避難ビルに速やかに避難してください。



### ● 要配慮者利用施設

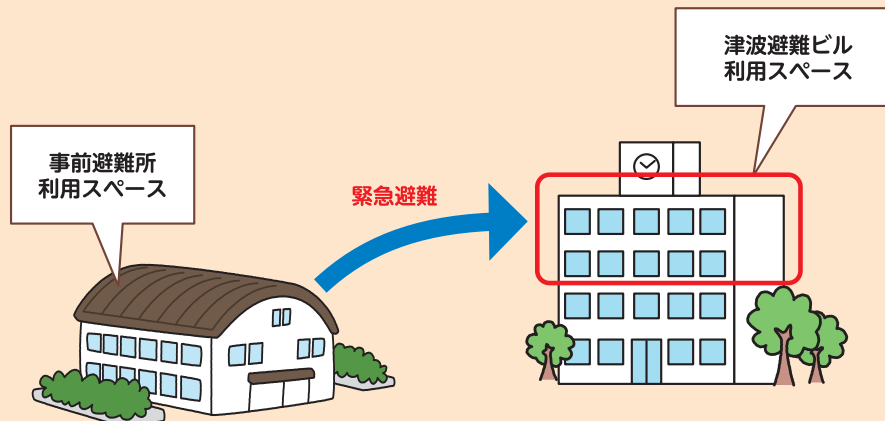
主として高齢者、障がい者、乳幼児、その他の特に防災上の配慮を要する方が利用する施設です。  
利用者は、災害発生の危険性が高まると予想される時は、安全な場所にいち早く避難してください。  
要配慮者利用施設の最新情報については、小松島市のホームページをご覧ください。



### ● 福祉避難所

被災後に高齢者、障がい者、乳幼児、妊婦など、災害時に配慮が必要な方（要配慮者）が一定期間滞することを目的とした施設です。

注 津波時の避難先ではありません。



## 南海トラフ地震に関連する情報について

「南海トラフ地震に関連する情報」は南海トラフ全域を対象に地震発生の可能性の高まりについてお知らせするもので、「南海トラフ地震臨時情報」と「南海トラフ地震関連開設情報」があります。

「南海トラフ地震臨時情報」は、情報名の後にキーワードを付記して「南海トラフ地震臨時情報（調査中）」等の形で発表されます。

南海トラフ地震 臨時情報		発表条件
キーワード	調査中	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合</li> <li>● 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合</li> </ul>
	巨大地震警戒	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生したと評価した場合</li> </ul>
	巨大地震注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界においてM7.0以上、M8.0未満の地震が発生したと評価した場合</li> <li>■ 想定震源域内のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でM7.0以上の地震が発生したと評価した場合</li> <li>■ ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合</li> </ul>
	調査終了	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合</li> </ul>

南海トラフ地震 関連開設情報	発表条件
	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合</li> <li>● 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）</li> </ul>

リーフレット「マンガで解説！南海トラフ地震 その日が来たら・・・」（内閣府）より

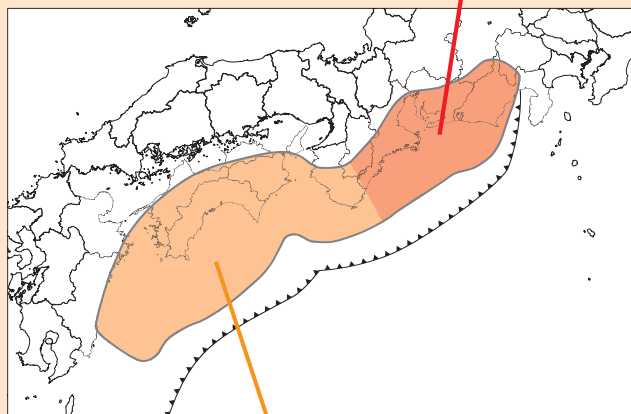
## 臨時情報が発表される「異常な現象」

臨時情報が発表される「異常な現象」には、下記の3つのケースがあります。

### ● 半割れケース

南海トラフの想定震源域内の領域で大規模地震が発生し、残りの領域で大規模地震発生の可能性が相対的に高まったと評価された場合。  
南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてM8.0以上の地震が発生した場合。

南海トラフ東側で大規模地震（M8クラス）が発生



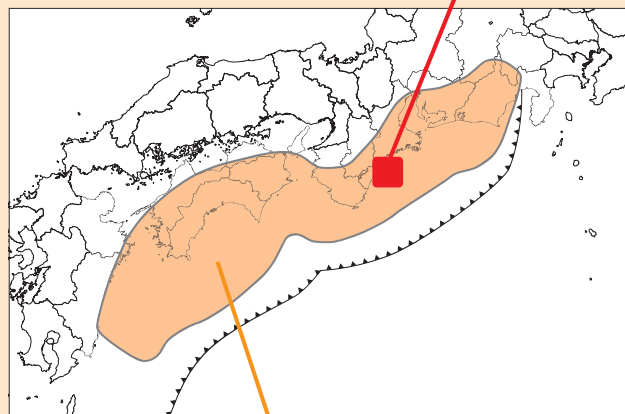
西側は連動するの？

「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】」（内閣府）より

### ● 一部割れケース

南海トラフ沿いで大規模地震に比べて一回り小さい地震（M7クラス）が発生した場合。  
南海トラフの想定震源域及びその周辺においてM7.0以上の地震が発生した場合。  
（半割れケースの場合を除く）

南海トラフ地震（M7クラス）が発生

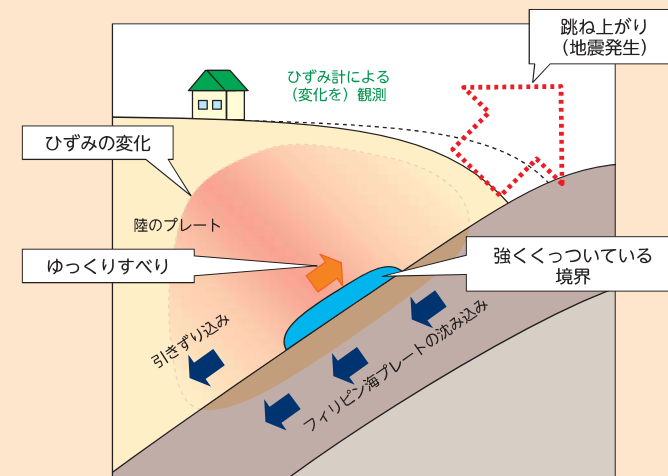


南海トラフの大規模地震の前震か？

「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】」（内閣府）より

### ● ゆっくりすべりケース

ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合。



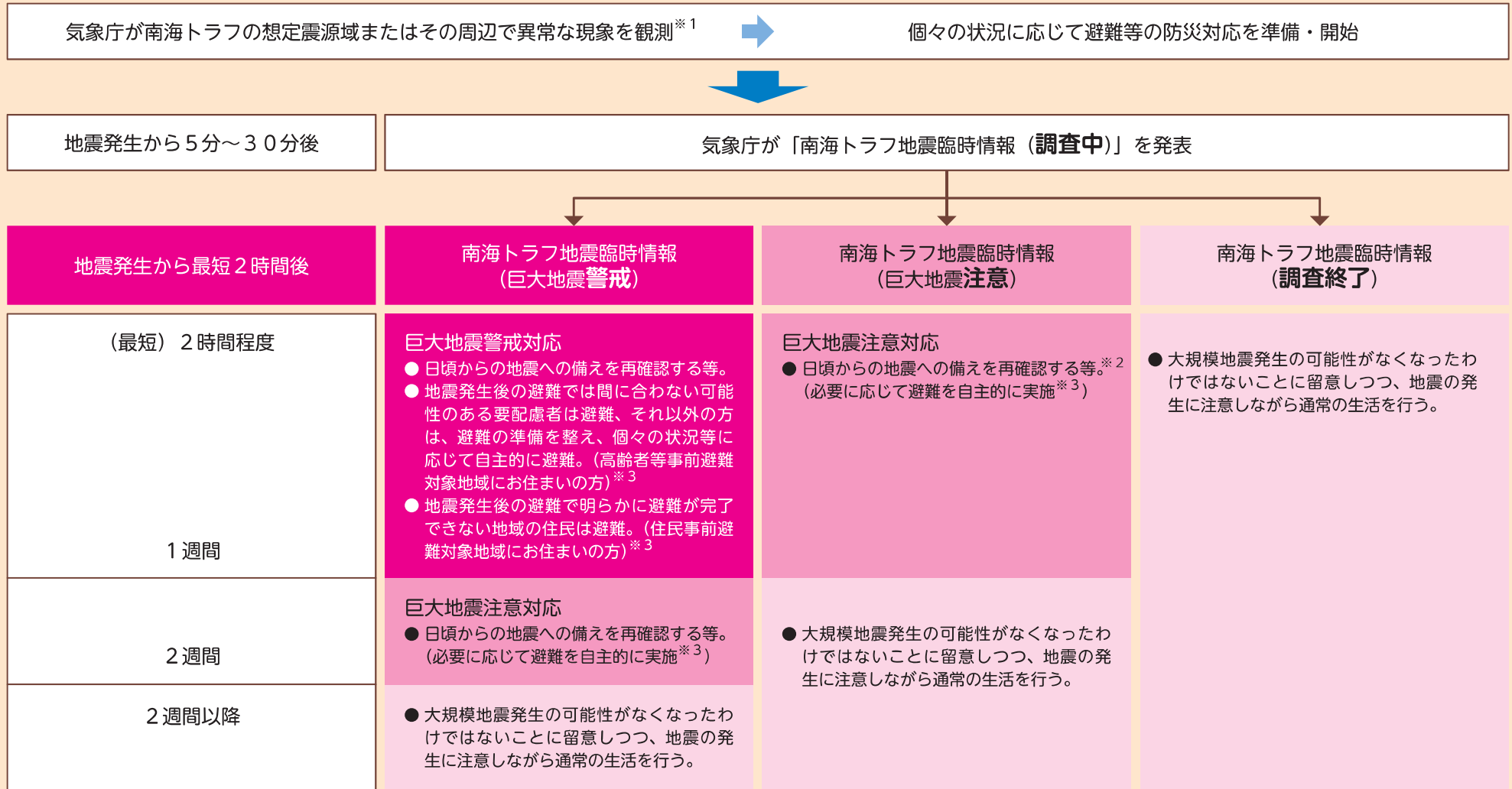
「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】」（内閣府）より

# 南海トラフ地震臨時情報が発表されたら

気象庁、国、県及び小松島市からの呼びかけに応じた防災対応をとりましょう。

南海トラフ地震臨時情報が発表された場合には、住民事前避難対象地域及び高齢者等事前避難対象地域にお住まいの方は、安全な親戚・知人宅または事前避難所への避難が必要です。

事前避難は1週間程度を基本とし、それ以降は後発地震に対して警戒態勢をとった生活を継続します。



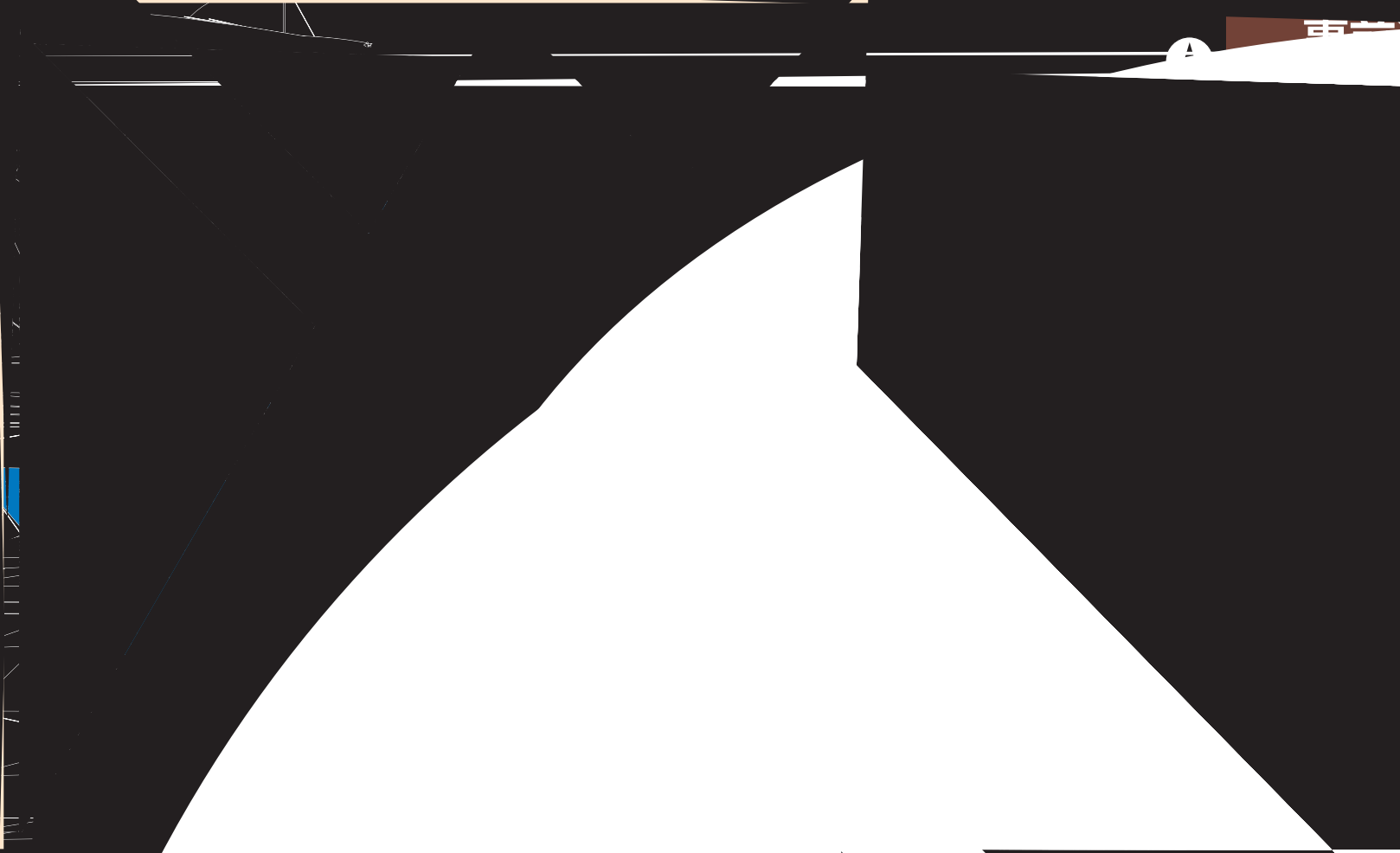
※1 南海トラフの想定震源域またはその周辺でM6.8以上の地震が発生または南海トラフの想定震源域のプレート境界面で通常とは異なるゆっくりすべりが発生した可能性がある場合。

※2 通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過した時まで。

※3 避難可能地域での買い物、通勤等の移動は可能です。移動時には近くの津波時の避難先の確認をしてください。

リーフレット「マンガで解説！南海トラフ地震 その日が来たら・・・」（内閣府）を基に一部加筆





大きな揺れを感じた際には、施設内の津波避難ビルに速やかに避難してください。

事前避難所		Pre-evacuation site	
地域	No.	施設名	避難可能人数
小松	1	小松市立小松小学校	1階和室、2階集会室
小松	2	小松市立小松中学校	体育館
小松	3	小松市立小松高等学校	体育館
小松	4	小松市立小松高等学校	体育館
小松	5	小松市立小松高等学校	体育館
小松	6	小松市立小松高等学校	体育館
小松	7	小松市立小松高等学校	体育館
小松	8	小松市立小松高等学校	体育館
小松	9	小松市立小松高等学校	体育館
小松	10	小松市立小松高等学校	体育館
小松	11	小松市立小松高等学校	体育館
小松	12	小松市立小松高等学校	体育館
小松	13	小松市立小松高等学校	体育館
小松	14	小松市立小松高等学校	体育館
小松	15	小松市立小松高等学校	体育館
小松	16	小松市立小松高等学校	体育館
小松	17	小松市立小松高等学校	体育館
小松	18	小松市立小松高等学校	体育館
小松	19	小松市立小松高等学校	体育館
小松	20	小松市立小松高等学校	体育館
小松	21	小松市立小松高等学校	体育館
小松	22	小松市立小松高等学校	体育館
小松	23	小松市立小松高等学校	体育館
小松	24	小松市立小松高等学校	体育館
小松	25	小松市立小松高等学校	体育館
小松	26	小松市立小松高等学校	体育館
小松	27	小松市立小松高等学校	体育館
小松	28	小松市立小松高等学校	体育館

避難所

事前避難所

高齢者等事前避難所

住民事前避難対象地域